

授業改善書

科目名	人文地理学
担当者	亀井啓一郎

授業の概要

今年は履修者が多く、またコロナの影響のため、2グループに分けての授業となった。対面授業とオンライン授業を同時並行で実施し、グループごとに交互に受講する方法で授業を進めた。オンライン授業はYouTubeによる動画視聴型の授業とした。いずれに授業においても、地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めた。

本科目は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教職免許の取得のための科目にもなっている。そのため、教職に就いた場合に必要とされる知識や教養を身に付けることもこの授業の目的のひとつとして授業を進めた。

授業の問題点

コロナの影響もあり、ほとんど出席しなかった学生もいた。授業開始当初は、対面授業とオンライン授業を交互に繰り返して受講することが定着しなかった。対面授業は例年と同様であったが、オンライン授業はただ授業動画を見ているだけという学生もいたようである。またMicrosoft Formsを利用し、授業内容の質問と授業の感想を書き、提出させることで出席確認の代替とした。しかし提出を忘れてしまうといった学生も少なからずいた。

授業の難易度は決して高いものではないが、基礎的な地理の知識が不足している者も少なからず見受けられた。

学生の授業満足度

授業は、基本的にはパソコンを用いてパワーポイントで進めた。スクリーンに映した画面をただノートに写すだけではなく、地図帳や資料、写真を見せながら授業を進めるようにした。パワーポイントのスライドは見て理解しやすいようにまとめ、学生がノートに写しやすいよう工夫した。学生にとって新たな知見を得られるような授業構成を心がけた。

授業改善の課題と方策

対面教室での授業の場合、一方的に話を進める講義形式だけでなく、作業や簡単な実習を伴うような授業構成も検討したい。オンライン授業の場合は、Microsoft Teamsを効果的に使用する方法を検討したい。

その他